

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 新潟大学教育学部附属長岡中学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
所在地 〒940-8530
新潟県長岡市学校町1-1-1
E-mail kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp
Website http://www.nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp
児童生徒数 男子 159名 女子 199名 合計 358名
児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

本校では、「社会的な知性を培う」を研究主題とし、幼少中一貫教育に取り組んでいる。「社会的な知性」とは、現代社会のさまざまな問題に主体的に関わりながら、従来の枠組みにとらわれず、新たな発想で他者と手を携えながら解決していける人材が備えるべき問題解決能力であり、それを「持続可能な社会を作り上げる資質・能力」としている。

「社会的な知性」をはぐくむためにおこなった活動の内、ユネスコスクール活動として代表的なものを各学年においてひとつずつ述べる。

(1) 留学生との英語交流

1～3学年の英語の授業において、全学年が新潟大学や長岡技術科学大学の留学生と英語をつかって交流活動を行っている。内容は以下の通り。

1学年…自己紹介～わたしのお気に入りを紹介しよう～

2学年…5年後の私～自分の夢を伝えよう～

3年生…附属長岡中学校を紹介します

1学年では、一般動詞の語尾が変化する三人称単数現在の文について学習する場面で、学習した文法を活用する場面として交流を行った。生徒は好きなキャラクターや芸能人、人物などを選んで紹介を行った。

留学生は、日本の中学生の嗜好や文化を目にして驚いたり、逆に自国の学生の文化を紹介したりして双方向のコミュニケーションを成立させていた。

生徒は、文法だけでなく、他国と比較したとき日本の学校文化がどのように受け取られるかについて、考えを広げることができた。



【交流の様子】

(2) 郷土料理と食文化の学習

2年生の家庭科の学習において、全国各地の地域食材について学習し、長岡野菜を使った郷土料理の調理実習を行う。

のっぺ、煮菜、ふかし茄子などの調理を行い、食材の特性や季節感を生かした郷土料理の良さを学んだ。

その後、シンガポール・マレーシアへの修学旅行（2016年2月実施）において、現地の伝統的な料理を実際に食べ、長岡の郷土料理と比較してその特徴や地域の気候との関係についてより深く学ぶことができた。レポートは現在作成中である。

(3) 防災

3年生の社会創造科において、長岡市の防災施設や災害備蓄倉庫を見学し、長岡市の防災への取り組みを学んだ。その中で、行政の取り組みに比べて市民の意識が全体として高まっていないこと、10年前の中越地震の教訓が忘れられようとしていることなどに対して問題意識をもった。



【市消防本部での見学】

そこで、長岡市の防災を考えるNPOに協力を依頼し、生徒が作成したハザードマップを検討した。形式的な部分だけでなく活用の仕方など、具体的なアドバイスをもらって改善への視点を得ることができた。

家庭で緊急時の待ち合わせ場所や避難経路などを検討した生徒や、近隣の防災体制の確立のために自分にできることを検討する生徒など、防災意識の高まりを行動に移す姿が見られた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）